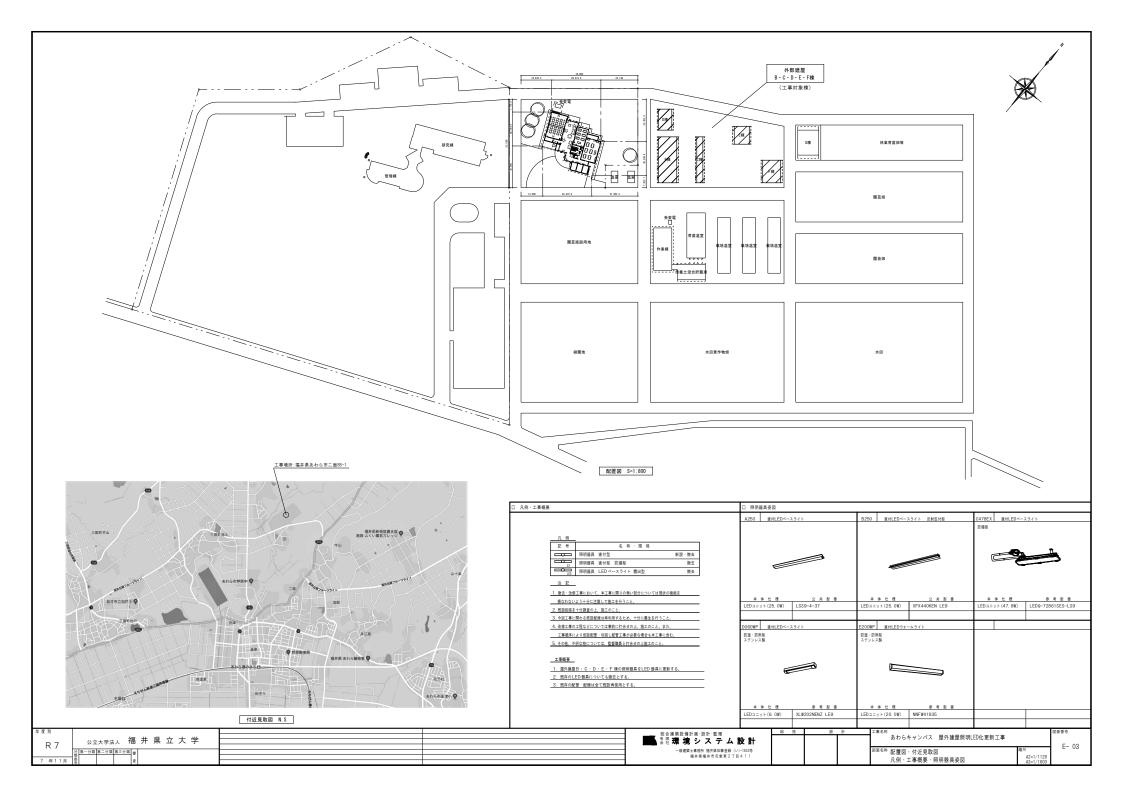
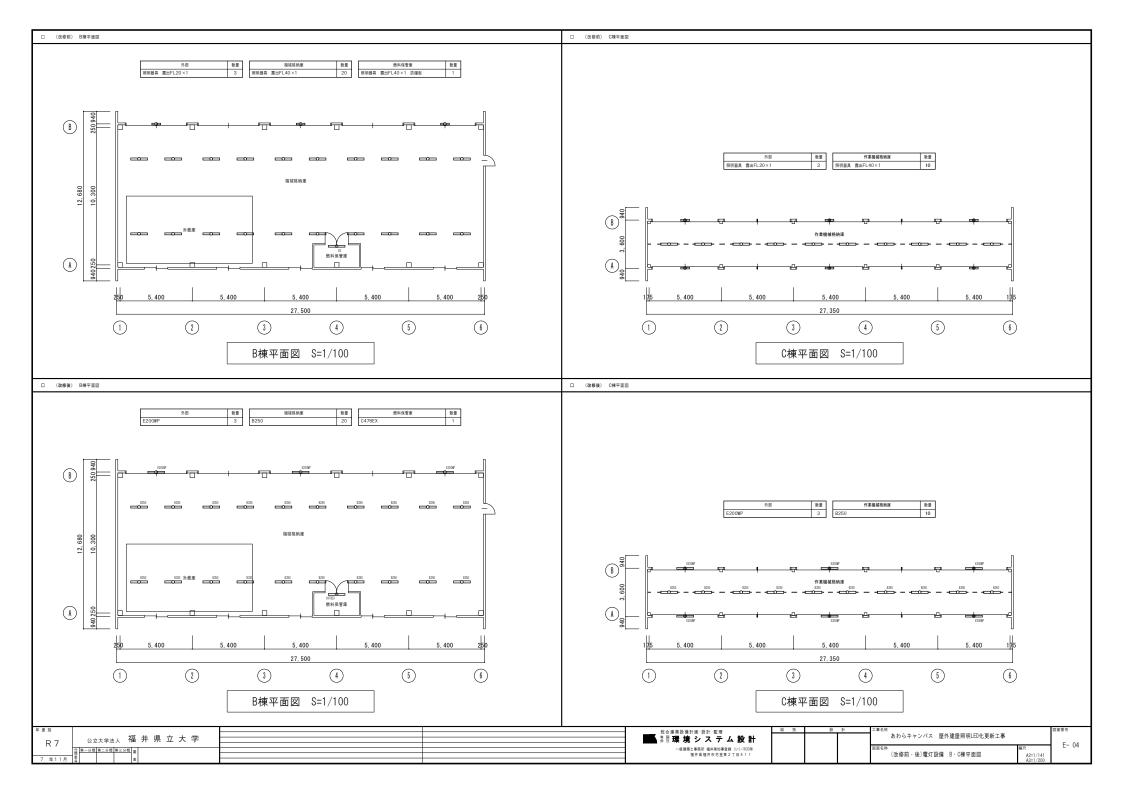
あわらキャンパス 屋外建屋照明LED化更新工事

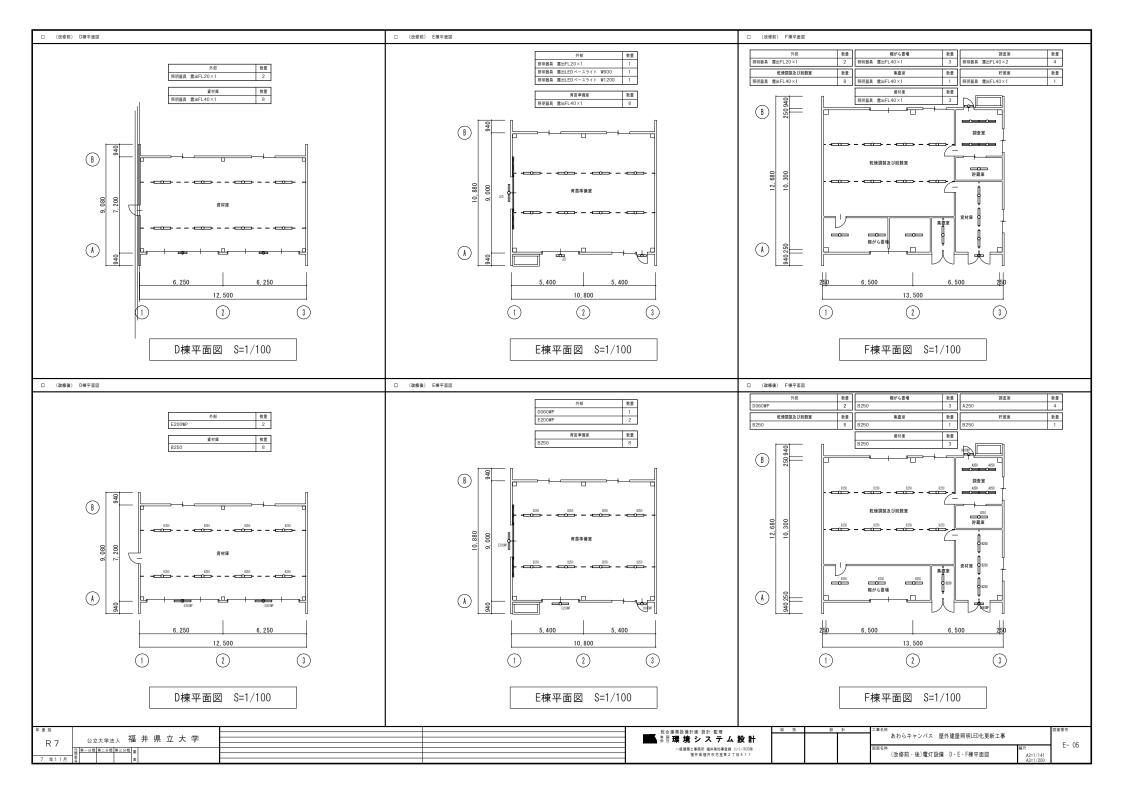
図面番号	図面名称
E-00	図面リスト
E-01	電気設備工事特記仕様書1
E-02	電気設備工事特記仕様書2
E-03	配置図・付近見取図・凡例・工事概要・照明器具姿図
E-04	(改修前·後)電灯設備 B·C棟平面図
E-05	(改修前·後)電灯設備 D·E·F棟平面図

B C D # - + 4 D U # +			0.544.00.00			(1) amount and to the control of the
電気設備工事特記仕様書(R& フを成り)	●工事用資材の選定	工事材料や物品等の調達においては、福井県内に主たる営業所を有する者の中からの調達お よび県産品の活用に努める。また工事完成時に県産品使用実績報告書を監督職員に提出する。	○仮設間仕切り ●養生	屋内に仮設間仕切りを設ける場合は、改修標準仕様書第1編 2.2.3 による。 標準仕様書第1編 1.3.10 または改修標準仕様書第1編第1章第7節による。	●完成時の提出図書等	(1) 標準仕様書および改修標準仕様書による完成図等を作成し、監督職員に提出する。 電子納品によるほか、提出部数および作成様式等は下記のとおりとする。
I. 工事概要	●設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの、または、これらと同等のものと する。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。		既存部分の養生 ※行う ○行わない 養生の方法 ※改修標準仕様書による ()		種 類 製 本 備 考
1. 工 事 場 所 <u>福井県あわら市二面88-1</u> 2. 建 物 概 要		また、設備機材等の製造者等は、次の(1)~(6)の事項を満たすものとし、証明となる資料	●後片付け	固定された備品、机・ロッカー等移動・復旧 〇行う 数量等() ※行わない		※完成図(変更設計図を含む) (注) ※保全に関する資料 2.部
双之至鏡 溢叶叶桂花点 建微铁镍计		または外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 (1) 品質および性能に関する試験データが整備されていること。	●依斤付け	標準仕様書第1編 1.3.11 または改修標準仕様書第1編 1.3.11 による。 撤去を行う場合は、改修標準仕様書第1編第1章第8節によるほか、次による。	-	※保証に関する資料 2部 ○長期保全計画書 2部
保 名 朴 「構 道 「暗 奴 (m²) 別 表 第 一 別表第一の用途 「浦 考		(2) 生産施設および品質の管理が適切に行われていること。 (3) 安定的な供給が可能であること。	○再使用機材	工作物撤去後の補修は(※モルタル補修 ○)とする。 取外した上再使用する機材は、清掃を行い、絶縁状態を確認後に取付けるほか、改修標準仕 ƒ	0	注:完成図白焼製本 A1版 部、A3版 2部を提出する。 (2) 保守点検に必要な工具類一式を、監督職員に提出する。
A:B棟 S造 平屋 290.12 7項 教育施設 B:C棟 S造 平屋 98.46 7項 教育施設		(4) 法令等で定める許可、認可、認定または免許等を取得していること。	049007130049	様書第1編 1.4.3 による。なお照明器具等の見えがかり部分は、洗剤を使用するなどして	<u> </u>	(こ) 体もかができますよう から、正自物だった出する。
C:D棟 S造 平屋 90.00 7項 教育施設		(5) 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。 (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。	発生材の処理等	十分に清掃を行う。 (1) 標準仕様書第1編 1.3.9 または改修標準仕様書第1編第1章第9節による。	'	
D:E棟 S造 平屋 97.20 7項 教育施設 E:F棟 S造 平屋 145.80 7項 教育施設		標準仕様書または改修標準仕様書による。		引き渡しを要するもの ※なし 〇あり	〇設計図	〇設計図 A1の白焼きを()部、A3の白焼きを()部製本し提出する。
E:F# 5返 平座 140.80 /項 教育施設	●工事検査・技術検査●工事成績評定の対象	監督職員の指示による。 ※評定する。		(○金属類 ○盤類 ○電線、ケーブル ○機器類 ●照明器具類) 家電リサイクル法による処分を要するもの ○なし ○あり(図示)	●著作権等	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に
3. 工 事 種 目 (●印を付けたものを適用し、各一式とする)	(工事成績評定要領	●評定しない(○応急工事 ○取壊解体工事 ○土砂運搬工事 ○規格品据付工事		(2) 特別管理產業廃棄物 ※無		委譲するものとする。
模別および壁外 適 用 区 分	第2条 ●化学物質を放散させる	○規格品交換工事 ○部品交換工事 (オーパホール含む) ●その他) 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質および性能を有すると共に、		○有(○PCB含有機器 ○据置鉛蓄電池(廃酸) ○廃油 ○) (運搬および処分費は ○本工事(PCB含有機器を除く) ○別途)	〇一年点検	受注者は「県有施設―年点検実施要領」に基づき―年点検を実施し、報告書を提出する。 施工に起因する不良個所があれば改修する。
工 事 種 目 A B C D E 屋 外 電灯設備 ● ● ● ●		及 次の(1)から(4)を満たすものとする。		PCBを含有する電気機器等は、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適切な処理の推進に 関する特別措置法(平成13年法律第65号)」によるほか、PCBが流出しない	●耐震施工	
動力設備 〇 〇 〇 〇		(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティク ルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、		関する特別指重点(予成13年法律第63号)」によるほか、FGBが混出しない 保管容器に収納し、建物管理者に引渡す。	●前展旭工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人 建築研究所 監修)により、基礎、架台、アンカーボルトについて耐震強度計算書を監督職員に提出し、
電熱設備 ○ ○ ○ ○ 雷保護設備 ○ ○ ○ ○		塗装、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用		(3) 放射性物質を含むイオン化式感知器 ※無 〇有(運搬・処分費は ※本工事 ○別途) 製造業者または販売業者に回収を委託する。		承諾を受けるものとする。 なお、基礎施工要領は標準図(機械設備工事編)(施工25~29)による。
受変電設備 0 0 0 0 0		する。		(4) 六ふっ化硫黄 (SF6) ガス ※無 〇有(運搬・処分費は※本工事 〇別途)		(1) 設計用水平震度
電力貯蔵設備 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		(2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を 使用する。		ガス絶縁開閉器、ガス絶縁変圧器等、受変電機器に含まれるSF6ガスは、製造者又は ガス回収業者に回収を委託し、再利用または再資源化する。		耐震安全性の分類 設置場所 ●特定の施設 ○一般の施設
構内情報通信網設備		(3)接着剤は可塑剤(フタル酸ジーnープチル及びフタル酸ジー2ーエチルヘキシル等を		(5) ボード等内外装材の撤去復旧に際しては、アスベスト含有建材とみなして必要な対策を		重要機器·水槽 一般機器·水槽 重要機器·水槽 一般機器·水槽
構内交換設備 ○ ○ ○ ○		含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 (4)(1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデ		講じた上、適切に処分すること。 (6)上記以外のものについては関係法令に従い適切に処理する。		上層階 2.0 (2.0) 1.5 (2.0) 1.5 (2.0) 1.0 (1.5) 歴上および塔屋 <2.0> <1.5> <1.5> <1.0>
情報表示設備		ヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用				中間隊 1.5 (1.5) 1.0 (1.5) 1.0 (1.5) 0.6 (1.0)
拡声設備 〇 〇 〇 〇		したものとする。				(1,5)
誘導支援設備 O O O テレビ共同受信設備 O O O			○建設発生土の処分	※構外搬出適切処理(※運搬・処分費を含む ○処分地:) ○構内指示の場所に敷きならし ○構内指示の場所にたい積 ○現場説明書による		および地下階 (1.5) (1.0) (1.0) (0.6)
テレビ発向受信政備 0 0 0 0 テレビ電波障害妨除設備 0 0 0 0			●環境への配慮	(1) 「建設機械に関する技術基準」および「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規		注1 () 内の数値は防振支持の機器の場合、< >の数値は水槽類に適用する。 2 重要機器(水槽類)は、下記による。(水槽類には燃料タンク等を含む。)
監視カメラ設備 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○				定」(国土交通省)による排出ガス対策型および低騒音型建設機械を使用する。 (2) 発生材の処理等		○配電盤 ○直流電源装置 ○非常用発電装置 ○交換機 ○電算用電源 ○UPS装置 ○自動火災報知設備 ○防災設備
駐車場管制設備				再資源化を図るもの		○監視制御装置 ○危険物貯蔵装置 ○火を使用する設備
火災報知設備 ○ ○ ○ + 1 を はないかけ ○ ○ ○				○蛍光ランプ、HIDランプ ○小型二次電池 ○金属類 ○建設汚泥 ○アスファルト・コンクリート塊 ○コンクリート塊 ○建設発生木材		●避難経路上に設置する機器3 上層階の定義は、次による。
中央監視制御設備 ○ ○ ○ ○ ○ ○				(3) 再生資源の利用		6階建以下の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、
構内配電線路 (外灯設備も含む)				※再生クラッシャラン ※再生アスファルト合材 (4) 提出書籍		10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階 (2)設計用鉛直震度
構内通信線路	-	-	-	以下の書類について、提出用ファイル(電子データ)を監督職員に提出する。		設計用鉛直震度は設計用水平震度の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
 3. 別契約の関連工事 ○建築関係工事 ○電気関係工事 ○ 金銭関係工事 	般 ○室内空気中の	※ 2 4 時間測定 ○ () 時間測定 延べ() 箇所	ŧ	①再生資源利用(計画·実施)書 ②再生資源利用促進(計画·実施)書	○建物への配管引込部の耐震処置	地盤変位への対応 想定沈下量 ※小規模0.2m以下 ○中規模0.6m以下 ○大規模1.0m以下
○その他工事 ()	事 化学物質の濃度測定	(1) 測定対象室および各室測定箇所数 ※図示 〇 ()	r l		●あと施工アンカー	新規に作成する基礎・構造体に設備を設置する場合には、原則としてあと施工アンカーは
5. 工 期	および確認	(2) 測定対象物質 ※室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、 エチルベンゼン (学校の場合はホルムアルデヒド、トルエン、キシ				使用してはならない。 配管、機器等の吊り下げ用アンカーには接着系アンカーを使用してはならない。
別に示す公告等による。(但し、下記に指定する部分の工事については令和 年 月 日完成)	48	レン、パラジクロロベンゼン、スチレン、エチルベンゼン)	Oグリーン購入調達	次十 十十 連続機材にカハマ 平宮の鉄線を除する 水原しまれて砂磨り取り線 機能の		施工後確認試験を行う。ただし、吊りボルト用アンカー等軽微なものは監督職員との協議に より省略することができる。
指定部分() II. 工事 仕 様		測定はパッシブ型採取機器により行う。測定条件等は、監督職員の指示による。 測定対象物質の濃度を測定し、報告する。	記録表の提出	資材、工法、建設機械において、工事の特性を踏まえ、必要とされる強度や耐久性、機能の 確保、コスト等に留意しつつ、「福井県庁グリーン購入推進方針(平成13年4月27日策定)」	±	より自動することができる。 試験方法 国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書
1. 共通仕様	●電気工作物の種類 ●電気保安技術者	※事業用電気工作物		に基づき環境資材等の使用を積極的に推進するものとし、その調達実績を記録した「公共工 事に保るグリーン購入調達記録表」を監督職員に提出する。		(建築工事編) (令和4年版) 8.12.7による。 確認強度 監督職員との協議による。
 現場説明書、特記仕様書、設計図面に記載がない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の仕様書等による。 「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)」(以下、「標準仕様書」という。) 	●品質管理	標準仕様書第1編1.3.4または改修標準仕様書第1編1.3.4による。	●情報共有システム	※利用しない		屋外設置機器のアンカーボルトのナット部分には、合成樹脂製キャップをかぶせる。
「公共建築工事標準は保含(竜丸改通工事機)(守和7年版)」(以下、「標準は保含」という。) 「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事機)(令和7年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)	●施工中の安全確保 および環境保全	施工中の安全確保および環境保全は標準仕様書第1編1.3.5および1.3.8または改修標準仕様 書第1編1.3.5 および 1.3.9 による。		(ただし、受注者より利用したい旨の申し入れがあった場合は、発注者はこれを承諾する。) ○利用する	ト用合成樹脂製キャップ ○適用区分	・ 建築基準法に基づき定められた風速および地表面粗度区分
「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和7年版)」(以下、「標準図」という。) 2)工事種目に機械設備工事および建築工事を含む場合、その仕様は当該図面による。	●火気の取り扱い	改修標準仕様書第1編 1.3.6 による。		(情報共有システム運用ガイドライン (案)福井県版を基に、福井県仕様のシステムに登録	B CONTRACTOR	V。(○30 ○32 ○34) 地表面粗度区分(○I ○II ○II ○IV)
2) 工事権日に被抗政権工事のより建築工事を占む場合、(の近郊は自政協関による。 3) 設計変更の対象事項および手続きならびに工事一時中止に係る手続き等は、「工事請負契約におけるガイドライ	●施工調査	施工計画調査は、改修標準仕様書第1編 1.5.1 および 第2編 2.1.1 による。 事前調査の内容は次による。	●電子納品	し利用すること。) (1) 本工事は電子納品対象工事とする。電子納品は、「電子納品の手引き(案)福井県版」	E .	条例により定められた積雪荷重 垂直積雪量 cm 単位荷重 N/cm·m2
ン(総合版)」(福井県土木部)による。 2. 特 記 仕 様		調査項目 改修対象建物および同建物内設備配管・配線等・屋外埋設配管等埋設物		(以下「要領等」という。)に基づいて行う。	〇風圧力および	以下の設備に対して建築基準法に定めるところによる風圧力および積雪荷重に対し、構造耐
2. 19 al は 19 1) 項目および特記事項は、③ ●印のついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は※印を適用する。		調査範囲 本工事と取り合いのある範囲および本工事の施工により影響が及ぶ範囲 調査方法 スケール・レベル・目視による他、監督職員との協議による		(2) 成栗品は「要領等」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体(CD-R)で2部提出する。 (3) 電子成果品の提出の際には電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーが	積雪荷重の検討	カ上安全である旨の検討(計算等)を行い、監督職員に報告し承諾を得る。 〇受雷部および引下げ導線 ○太陽電池アレイおよび接続箱 ○風車発電装置
章 項目 特記事項		○改修範囲の既存機器絶縁油へのPCB混入の有無について調査し、監督職員に報告する。		ないことを確認した後、ウイルスチェックを実施したうえで提出する。		○テレビ共同受信用アンテナおよびアンテナマスト ○太陽電池式ポール型屋外時計
●施工条件 現場説明書による。 ●事務処理 福井県営繕工事監督事務処理要領による。		○型式調査:○照明器具安定器 ○変圧器 ○高圧コンデンサ ○高圧サアウルル ○交流遮断器 ○絶縁油分析調査:変圧器 台 高圧コンデンサ 台 高圧サアウルル 台 交流遮断器 台			○防火区画貫通部等の	○ (1) 電線等が防火区画または防火上主要な間仕切りを貫通する場合には、関係法令(建築基
●近接工事の間接費等 密接に関係のある同一工事区内の工事と同一施工業者が落札した場合は、両工事を合算したの調整について もので落札後調整を行う。		分析は「絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マニュアル」により行う。 分析機関による分析費用は本工事とする。	●電子納品の対象	工事関係資料のうち電子納品の対象とする納品資料を下表に示す。 詳細については、「電子納品の手引き(案)福井県版」による。	処理	準法施行令第112条、第113条、114条、第129条の2の4)に従うほか、標準仕様書第2編
●施工計画書 標準仕様書第1編1.2.2により施工計画書を作成し、監督職員に提出する。	〇埋設物等	標準仕様書または改修標準仕様書によるほか、下記による。		フォルダ名称 資料大分類 ファイル形式		2.1.10 および 2.1.11 または改修標準仕様書第2編 2.1.11および 2.1.12により、適切な措置を行う。
●施工体制の確保 建設業法によるほか、下記により工事現場における適正な施工体制の確保を図る。 (1) 提出書籍		施工前に当該工事に係る地中埋設物等 (建物または既設コンクリート内の既設配管・配線も 含む) について事前調査を行う。既設構造物の位置および既設埋設配管の経路等が不明な場		PLAN 施工計画書 PDF形式 SCHEDULE 工程表 PDF形式		(2) 大臣認定を受けた工法で施工する場合は、認定書の写しを提出し、監督職員の承諾を受けるとともに、認定工法の表示を行う。
1 施工体制台帳および施工体系図の写し		合は、探査方法および試験堀方法を監督職員と協議する。		MEET 打合せ簿 PDF形式	○はつりおよび穴開け	はつりおよび穴開けを行う場合は、改修標準仕様書第1編第2章第11節によるものとし、
2 工事担当技術者台帳の写し 監理技術者および主任技術者(下請負を含む)の顧写真、氏名、生年月日、所属会	●非破壊調査	はつりおよび穴開け、あと施エアンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。 施工場所を鉄筋探査機により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行うものとし、費用は		MATERIAL 機材関係資料 PDF形式 PROCESS 施工関係資料 PDF形式		既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターを 使用し、モルタル等を充てんして補修する。
社名を記載し、施工体制台帳または施工計画書に添付する。		本工事とする。放射線透過検査を用いる場合は、監督職員と協議する。		INSPECT 検査関係資料 PDF形式	●電線	特記なきものはEM-IEとする。
3 工事元請・下請関係者届出書 抜当なき場合はその旨を記入し提出する。	●工法等の提案 ●工事用電力	工法等の提案は、標準仕様書第1編 1.5.6 または改修標準仕様書第1編 1.6.7 による。 (1) 本工事に必要な工事用電力、水等の費用 ※含む ○含まない		SALVAGE 発生材関係資料 PDF形式 DRAWINGF 完成図 ※SXF(sfc)形式および	●電線類	EM電線、EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲンおよび鉛を含まない材料で 構成されたものとする。
(2) 工事実績情報の登録 (工事請負代金額が500万円以上の工事) 設 工事実績情報サービス (CORINS) に基づき、工事の受注・変更・完成・訂正時に工事実	・水・その他	(2) 本電源受電後、引き渡しまでの電気料金 ※含む ○含まない (*) 海刺やヤトバイス製や土屋様とする。ただ 海刺工事にあってけ傾れ公)		※JW-CAD形式 MAINT 保全に関する資料 PDF形式	●機器内配線等	下記の機器内配線およびケーブルには、EM電線およびEMケーブルを使用する。 ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。
横情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督職員の確認を受けたうえ、期	〇工事負担金等	(水道料全およびガス料金も同様とする。ただし、増設工事にあっては増加分) 下記の費用を(〇含む ※含まない)		OTHRS 契約関係資料 PDF形式 (注1)		分電盤 OA盤 実験盤 開閉器箱 制御盤 キュービクル式配電盤
		○電力引込負担金 () 円 ○変電所建設負担金 () 円 ○ ○CATV加入料金 () 円		施工図 ※SXF(sfc)形式 完成写真 JPEG形式 (注3)	●ケーブル配線	直流電源装置 交流無停電電源装置 (簡易型を除く) ケーブル配線の場合、接地線は原則としてケーブルの芯線数を追加して利用する。ただし、
頃 (3) 名札の着用	●現場表示板	地域住民への工事に関する情報提供のため、現場表示板を設ける。表示板には、県内間伐材		工事実績情報 PDF形式	→ ソーンル配標	幹線は除く。原則として専用の支持材での支持とするが、改修工事等でこれによれない場合
監理技術者および主任技術者 (下請負を含む) および元請業者の専門技術者は、工事現 場内にないて、丁事タ、丁幣、部買事、氏タ、不服会社タ、社団などに飲み年月日代記	●工事用仮設物	を使用し、工事名称、発注者名、受注者名、連絡先等を簡明に示す。 構内につくることが ※できる ○できない (すべて受注者の負担とする)		工事の一時中止 PDF形式 工期の変更 PDF形式		は監督職員の承諾を受ける。
- 横内に向いし、上乗右、上朝 頭五草 比名 阿重宝石名 石田および発行年日日が記し	●足場·作業構台	別契約の関係受注者が定置したものは、無償で使用できる。		文化財その他埋蔵物 PDF形式		
場内において、工事名、工期、 顔写真、氏名、所属会社名、社印および発行年月日が記 載された名札を着用する。	l I	※ 本工事で設ける場合は改修標準仕様書第1編2.2.2 によるほか、足場の設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置		その他の資料 PDF形式 (注4) 工事写真 JPEG形式(100万画素程度)		
載された名札を着用する。 ■官公署への手続き 工事に必要な官公署等への手続きは標準仕様書第1編1.1.3又は改修標準仕様書第1編1.1.3			2011年後,天体限点	原田出書、現場指示書は契約関係資料に入れる。それ以外については手引きによる。		
 動きれた名札を雇用する。 ●官公署への手続き 工事に必要な官公署等への手続きは標準仕様書第1編1.1.3又は改修標準仕様書第1編1.1.3 による。官公署等への諸手続および費用は受注者の負担とする。 ●主任技術者等の資格 別に示す公告等による。 		き方式または(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。				
 童官公書への手続き 工事に必要な管公署等への手続きは標準性措置期(額1.3又は改修標準性措置期(額1.13)による。官公署等への諸手続および費用は受注者の負担とする。 ●主任技術書等の資格 別に示す公告等による。 予下資料へる選定・事件を記する場合には、福井県内に主たら置業所を有する者の中から選定するとと。 		内部足場 ※A種、B種、C種、D種 〇E種(単管足場)	注2:ファイル形式に	は上表による。これによれない場合は監督職員と協議する。		
●官公書への手続き 工事に必要な空気署の一条計さは編本任権書前1編1.3 又は改修標準任権書第1編1.1 3 による。官公署等への基手続および費用は受注者の負担とする。 ●主任技術者等の資格 別に示す公告等による。 ● 下請負人の選走 下請負人を選定する場合には、福井県内に主たら営業所を有する者の中から選定すること。 ただし、あらかじめ書伝による非常を受けた場合は、この限りではない。(福井県政社事 天満下海関係委正化格事業開係会)		内部足場 ※ A種、B種、C種、D種 ○F種(解管足場) ○F種(くさび緊結式足場) ○G種(枠組足場) ○O種(外間足場) 外部足場 ○A種(枠組足場) ○D種(くさび緊結式定場) ○O種(単管足場)	注2:ファイル形式に 注3:完成写真は電子 注4:フォルダ構成	k上表による。これによれない場合は監管職員と協議する。 「画像の他、[〇四つ切 〇キャビネ版]のブリントを () 前提出する。 ドと、「営種工事写真撮影要領令和5年版」(国土交通名大臣官房官庁営種部)によるほか、		
 重されと名札を掲用する。 ●官公書への手続き 工事に必要な官公署等への手続きは標準仕権書第1編1.1.3以は改修標準仕権書第1編1.1.3による。官公署等への指手根および費用は受注者の負担とする。 ●主任技術者等の資格 別に示す公告等による。 下請負人の選定 下請負人の選定 下方請負人の選定 大きを受けた場合は、福井県内に主たる豊富所を有する者の中から選定すること。ただし、あらかじめ書面による実施を受けた場合は、この限りではない。(福井県建設工事、元城下議院修画工作和事要期限なる) 金公共事業の務費領差 公共事業の務費領差 公共事業の務費領差 公共事業の務長領委 公共事業の務長領委 		内部足場 ※A種、B種、C種、D種 ○E種 (単管足場) ○F種 (マさな新枯式足場) ○日種 (科智足場) ○日種 (科智足場) ○日種 (科智足場) ○G種 (科管足場) ○〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	注2:ファイル形式に 注3:完成写真は電子 注4:フォルダ構成	k上表による。これによれない場合は監督職員と協議する。 「画像の他、[○四つ切 ○キャビネ版]のプリントを () 部提出する。		
●官公書への手続き 工事に必要な空気署の一条計さは編本任権書前1編1.3 又は改修標準任権書第1編1.1 3 による。官公署等への基手続および費用は受注者の負担とする。 ●主任技術者等の資格 別に示す公告等による。 ● 下請負人の選走 下請負人を選定する場合には、福井県内に主たら営業所を有する者の中から選定すること。 ただし、あらかじめ書伝による非常を受けた場合は、この限りではない。(福井県政社事 天満下海関係委正化格事業開係会)		内部足場 ※ A種、B種、C種、D種 ○F種(解管足場) ○F種(くさび緊結式足場) ○G種(枠組足場) ○O種(外間足場) 外部足場 ○A種(枠組足場) ○D種(くさび緊結式定場) ○O種(単管足場)	注2:ファイル形式に 注3:完成写真は電子 注4:フォルダ構成	上表による。これによれない場合は監督委員と協議する。 画像の他、「〇四つ切 〇キャビネ版」のブリントを () 新提出する。 と、「古籍工事写其書影要領令和記年版」(第土交基金大臣官房官庁宮陽部)によるほか、 による。ただし画像データの編集はファイル名のみとする。	股 計 工	S 名称 国国董号
●官公告への手続き エキルをおしを用する。 「正本の子続き エキルの変化を発展する。 「正本の子続き による。官公書等への手続きは標準化情書第1編1、1.3 による。官公書等への諸手終れよび費用は受注者の負担とする。 ●工程技術者等の資格 別に示すな必要による。 ●下請負人の選定 「請申人を選定する場合には、福井県内に主たる産業所を有する者の中から選定すること。ただし、あたりたの書間による子譲を受けた場合は、この限りではない。(福井県建設工事、元請下請開係選正と他等要領第5条) ・公共等本労務養護金の対象工事となった場合(工財経過後も同様)には、調査集の記入等について必要な協力を行う。 在 変別 「本来の 大阪 日本 日本 「本本学		内部足場 ※A種、B種、C種、D種 ○E種 (単管足場) ○F種 (マさな新枯式足場) ○日種 (科智足場) ○日種 (科智足場) ○日種 (科智足場) ○G種 (科管足場) ○〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	注2:ファイル形式に 注3:完成写真は電子 注4:フォルダ構成	上主表による。これにおれない場合比較智養人と観察する。 「宮田の他、[〇四つ切 〇キャビネ版]のブリントを () 修提出する。 とと、「宮梅工事互発着影響機合物配字版] (国土交通を大臣官房官庁宮籍部) によるほか、 による。ただし画像データの編集はファイルをのかとする。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	股 計 工事	あわらキャンパス 屋外建屋照明LED化更新工事
●官公署への手続き 工事に必要な官公署等への手続きは福業化機書前1編1.1.3 による。官公署等への手続き による。官公署等への基準的とは一般を開発した。 「とない、日本の法事はおよび費用は受注者の負担とする。 ●主任技術者等の責動 別に示す公告等による。 ●下請負人の選定 下請負人を選する場合とは、福井県内に主たら富業所を有する者の中から選定すること。 ただし、あらかじの書面による実施を受けた場合は、この限りではない。 (福井県政区工事・工房下書機所後正の指導業所条) 公共事業労務費調査・公司等機関係会) 公共事業労務費調査・公司を定義を持た場合は、この限りではない。 (福井県内に主たら富業所を対しているのではない。 (福井県内に主たら富業所を対しているのではない。 (福井県内に主たら富業所を対しているのではない。 (福井県内に主た古田東の東京を入りませた。) 公共事業労務費調査の対象工事となった場合 (工規経過後も同様) には、調査票の記入等について必要な協力を行う。		内部足場 ※A種、B種、C種、D種 ○E種 (単管足場) ○F種 (マさな新枯式足場) ○日種 (科智足場) ○日種 (科智足場) ○日種 (科智足場) ○G種 (科管足場) ○〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	注2:ファイル形式に 注3:完成写真は電子 注4:フォルダ構成	たままによる。これによれない場合比較智量長と認識する。 高像の他、[〇回の 〇 中やセルを、	82 8t II II I	#50秒 あわらキャンパス 屋外建屋照明LED化更新工事 電気粉像工事 特記仕様書 1 R2-WIN

		1.1.					the state of the s
)電線管 (埋込配管・露出配管)	(1) 電線管表示(19)(25)~(75)で特記なき場合は、ねじなし電線管とする。(2)梁の中に配管する場合は、主筋に近接して沿わせない。また、梁面より100mm以上) 工事範囲) 照明制御装置	○配管 ○配線 ●機器取付 ○機器移設・改設 ○取外し再取付 照明制御装置の各センサーの設定は、監督職員の指示による。		○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移放・改設 ○取外し再取付 ○自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。	表一1 「機器標準取付高さ」 名 称 別 点 取付高 (mn) 名 称 別 点 取付高 (mn)
(性心配言: 語出配言)	(2) 案の中に配管する場合は、王筋に近接して沿わせない。また、楽曲より100mm以上の間隔をあけてふ設する。		ノ無労制御表置	照明制御装置の各センサーの設定は、監督職員の指示による。 ○顧明制御器設定器を(個)附属すること。	声 ○増幅器 ○スピーカ	○目動放送はアッテネーターを終由した価格でする。 特記なきスピーカは、(※SC6Hi-1V3-M ○)とする。	東京日本語 株 F - 第中心 1 200 - 2 000 1 500
	(3) 最上階天井スラブ (屋上スラブ) には、原則として埋込配管を行わない。)多重伝送制御システム	多重伝送制御システム(照明制御)の設定は、監督職員の指示による。	· CAL II	7 C 7 6 6	電
	(4) コンクリート埋込配管は、 (PF22) 以下、 (E25) 以下とし、スラブ原の1/4を超える外	. -		○システム設定器を (個) 附属すること。	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○ <u>取外し再取付</u>	1 500 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
	径の配管は埋込まない。	•		図面特記を除き、LED照明器具の制御装置の種類は、調光信号線が接続された器具にあって	夢 ○工事種別	○音声誘導装置 ○インターホン ○トイレ等呼曲装置 ○受付呼出装置	通 分電盤 床上~中心 (上端1,900以下) 拡
	(5) PF管を使用する場合は、管相互との離隔および平行する配筋との離隔は30mm以上			はLXまたはLZ、それ以外はLNまたはLJとする。	支 ○テレビインターホン	親機に子機カメラ角 <u>度調整機能(上下</u>)を設ける。	スイッチ " 1,300 壁付アッテネータ " 1,300
	とする。				設 のトイレ等呼出装置	プルスイッチのひもの長さはO.2m程度とする。	人感センサ操作スイッチ " 1,800~2,000 表示盤 " 天井高×0.1
	(6) 分電盤、端子盤の2次側配線で配線が10本以上集中する場所は、第1ボックスまで顕製電線管で施工する。	電		<u> </u>	7 受 ○工事範囲	提りボタンのコードの長さは1.2m程度とする。 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取外し再取付	コンセント (一般) " 300 表 壁付発信機 " 1,300 ペル・ブザー・チャイム " 2,300
	災電隊官で成上する。 (7) 屋内の露出配管は以下による。	1 to	分電盤等	(1) 本工事の分電盤、OA盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器および漏電遮断器の	· 受 ○工争和曲 · 信 ○電界強度測定	②配言 ○配称 ○依容収刊 ○依容を改・立立 ○取介に再収刊 測定チャンネルは、監督職員と楊振する。	電 " (和至) " 150
	※ねじなし電線管	設		寸法は、JIS C 8201-2-1「低圧開閉装置および制御装置一第2-1部:回路遮断器(共備		# (土間) 床上~中心 800~1,300
	〇國示	備			監設 〇工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取外し 再取付	パ (車椅子用) " 900 / 外部受付用インターホン(子機) 標準図による
屋外露出配管	屋外の露出配管は以下による。(図面特記のあるものを除く)	7		器」、JIS C 8201-2-2「低圧開閉装置および制御装置一第2-2部:満電遮断器」、同	力備		ブラケット (一般) " 2,100~2,300 プン 壁付インターホン (上記以外) 床上~中心 1,300
	※厚頻電線管(溶融亜鉛めっき 亜鉛付着量300g/m2以上)			付属書 JC「電灯分電盤用協約形漏電遮断器」による1極サイズのものとする。	ž		" (踊場) " 2,000~2,500 ^タ 壁付アウトレット (一般) " 300
	(4) = (4			世 第 ○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取外し再取付	" (鏡上) 鏡上端~下端 50 木 " (和室) " 150
【線本数・管路等	(1) 電線の収容本数は内線規程による。			(3) SPD分離器は、監督職員の承諾を受けて、SPDと一体とすることができる。	* 6		プ 壁付押ボタン (多目的トイレ) // 900
	(2) 分電盤2次側以降の配線、制御盤、端子盤等の制御用配線および各通信機器間の配線 (幹線部分を除く)において、配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は設備機器の機			(4) O A 盤の端子盤部に (※通気口 ○冷却用ファン) を設ける。 (端子盤部が端子のみの場合を除く)	防置 ○工事範囲 ; M ○工事種類	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取外し再取付 ○機械警備用配管	- 動 壁掛形制御盤 床上~中心 1,500 大 デ 機器収容箱 天井下~上端 200 (上端1,900以下) ドレビ端子(一般) 床上~中心 300
	(幹球即方を除く)にのいて、配球症は、電球点と、電球や蚊、管性等は設備依器が依 能を充分満足するよう施工する。	1		(第一金町が増工のみの場合を除く) (第19回路のあるものに限る)	入 (音) 〇工學 (種類)	○	カ 開閉器箱 " 1,500 円 " (和室) " 150
	(3) 1区間の配線の恒長が30m以上の場合、施工上必要な場合には、ジャンクションボッ			to more and a second state of the second state	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取外し再取付	操作スイッチ // 1,300 億
	クスを設ける。	0:)工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取外し再取付	○工事種類	○自動火災報知装置 ○自動閉鎖装置 ○非常警報装置 ○ガス漏れ火災警報装置	端子盤 (室内) 床上~下端 300 受信機·副受信機 床上~中心 800~1,500
	(4) 増築用予備配管の管端は外壁面から10cm程度内側に止め、キャップ等を使用して雨	01	制御盤	(1) 単位装置の電流計は負荷端子の手前に接続する。 (インバータ回路を除く)	○消火ポンプの始動	※開閉弁開放 (易操作性 1 号消火栓及び 2 号消火栓)	集合保安器箱 天井下~上端 200 自 機器収容箱 " 800~1,500
	水の進入を防止する。			(2) 制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。	de	○消火栓箱内押ボタン (1号消火栓)	壁付アウトレット (一般) 床上~中心 300 動 発信機 " 800~1,500
	(5) 機械室等の床配管は図面上PF管等で記載している場合であっても、立上げ部分等の露			(3) インバータ発熱対策用冷却装置を扉面に付ける場合、開扉時に冷却装置を停止させる。	X	○発信機と連動(総合盤に始動表示灯を設ける。)	電 " (踊場) " 150 火ベル " 2,300
	出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。	1	0.11.88.73.75 = 5	(4) インバータ発熱対策用冷却装置の故障を、単位装置の故障に含める。	災 〇連動制御器	○単独 ○火報受信機等と一体	新 報表示灯 " 2,100 知 *** ******************************
	(6)分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管路等は 監督職員の承諾を受けて変更することができる。	[N)火災インターロック	自動火災報知設備の受信機、連動制御器およびガス漏れ火災警報受信機と連動して、制御盤 で空調機を停止させる。	報○自動閉鎖装置	○ダンバ等(全数)復帰用の予備電源容量をもつこと。○防火戸用(DC24V 0 6 A以下 電磁式またはラッチ式)	プロス 液化石油ガス用検知機 床上~上端 300
置ボックス等	監督職員の承諾を受けて変更することができる。 (1) 天井隠ぺいの位置ボックスは、ケーブル配線で端末となる所には設けなくてよい。	1 100)インバータ装置の	で空調機を停止させる。 三相可豪速運転用インバータ装置の提制効率は、次の数値以上とする。	知	○防灰戸用 (DC24V U 6A以下 電磁式またはマッチ式) ○防煙ダンパ用 (別処工事 瞬時通電式または電動式DC24V 0.6A以下、	注、天井高3,000m以上の場合および機器の使用に支障がある場合は、監督職員と協議する。
=// ^=	(1) 大井崎へいの世重ホッケスは、ケーブル配線と増末となる所には設けなくとよい。 (2) 結露するおそれのある外壁に埋込む場合は、結露防止断熱カバーを取付ける。		規約効率	= 相可変 迷迷転 ガインハーラ 装量 (の 表別 効率は、 次の 数値 以上 こ する。 電動機出力 (kW) 0.40_28 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11 15 18.5 22.30, 37, 45, 55, 75	設	② 適方復帰機構(電動式) DC24V 0. 6A以下、	(上、八月回5,000mm以上の借口のみび収益の区内に又呼びのも借口は、監督無反に勘議する。
	(3) 盤類取付ボルトは必要以上に盤内に出さないようにする。また、耐震壁および外壁には	設		規約効率(%) 2007 96.088.592.093.094.094.094.594.595.095.5 95.5	- Car	○ 防煙シャッタ用 (別途工事 DC24V O. 6 A以下 警報連動付)	表一2 「接地極一覧表」
	盤を埋込まない。	備		規約効率(%) 400V 37. 090. 593. 594. 094. 594. 595. 095. 096. 0 96. 5	(明) (ガス漏れ)	○単独型 ○火報受信機と一体	接地の種類 記号 接地抵抗 接地極の規格・数量
	(4) 樹脂管で配管する場合は、合成樹脂製ポックスを使用する。			注1)規約効率は、JEM-TR245「汎用インバータの規約効率」より算出した値とする。	火災警報装置	ガスの種類 ※液化石油ガス 〇都市ガス ()	O共同接地 E _{A.B.C.D} Ω以下 EP-0.9 ×
	(耐火間仕切部(軽量鉄骨下地)は図示による)	1		2)0.4kWの効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V(上			O共同接地 EACD Ω以下 EP-0.9 ×
能管	(1) 分電盤の予備の配線用遮断器が4個以下の場合(25)を1本、5個以上の場合			段)、400V(下段)、6極、50Hzの電動機を駆動した時の値とする。	_		O A 種接地 E A 1 0 Ω以下 E P - 0.9 ×
	(25) を2本天井内まで立上げる。			3)0.75kW以上の効率は、JIS C 4213「低圧三相かご形誘導電動機-トップランナーモー	中制〇工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取外し 再取付	○ B種接地 E _n Q以下 EB (0=14, L=1500または順=40, L=1200) × 3連一 (1 0 0 N) T
ľ	(2) 端子盤の立上がり予備配管は、50Pを超えるものについては、50P毎に(25)を 1本天井内まで立上げる。			ター」の定格電圧200V、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。	受物 ○監視方式 設備	○警報整 <u>○簡易彩監視制御装置</u> ○監視制御装置	○ C種接地 E。 10 Q以下 EB(0=14, L=1500またはW=40, L=1200) × 3連一 : ○ D種接地 E。 100 Q以下 EB(0=10, L=1000またはW=30, L= 900) × 1
	1 本大井内まで立上ける。(3) ケーブルラックの防火区画貫通部に、(51)を1本以上設ける。	- L C)工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移 り・改約 ○取 外し再取付	〇工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移散·改設 ○取外し再取付	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
リッシュプレート :	※金属製(ステンレス、新金属も含む) ○樹脂製	熱備	, TO 100	Jan	○区分開閉器	外箱 ※ステンレス鋼板製 ○鋼板製	○高圧避雷器 E _{LM} 1 O Q以下 EB(D=14, L=1500またはW=40, L=1200)×3連ー 2 #
	床用配線器具の形式は以下による。(図面特記のあるものを除く)	8 0)工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設·改設 <u>○取外し再取</u> 付		構造 ○耐中塩じん用 ○耐重塩じん用(耐塩じんの汚損特性 0_28mg/cm2)	○低圧避雷器 E.L. 1 0 Q以下 EB(D=14, L=1500またはW=40, L=1200)×3連一 2 M
	二重床 ※インナー形 〇飛び出し形 〇内部固定形 〇外部固定形		雷保護システム	○外部雷保護システム (○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム)		内蔵機器 〇避雷器 〇制御電源用変圧器	○
	二重床以外 ※飛び出し形 ○引出し形 ○内部固定形 ○外部固定形	護		〇内部雷保護システム		SOG制御装置 ※屋外形(ステンレス鋼板製収納箱・鍵付) ○屋内用埋込形	○EB(U=14, L=1500または新40, L=1200) × 2連一 2 st
	(フロアベースは水平高低調整式(空転防止付リング付) ※砲金製 〇アルミ製 とする) 数 (01		OF OR ON	○マンホール	構造、寸法は (※標準図 ○図示)による。	○交換機用 E _τ Ω以下 EB(D=14, L=1500またはW=40, L=1200) × 3連ー #
取付高さ	図面に特記なき場合は、表一1「機器標準取付高さ」による。			構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を構造体下部に設ける。 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取外し再取付	およびハンドホール	蓋の用途表示は(※電力 ○)とする。	○通信用 EAt 1 0 Q以下 EB (0=14, L=1500またはW=40, L=1200) × 3連-2
寸法 : 理設管	盤その他機器類について図示した寸法は参考値とする。 (1) 埋設深度は、次のとおりとする。)工事範囲)変圧器の規格	○配管 ○配線 ○破器取付 ○機器移設・改設 ○取外し再取付 (1) 変圧器 (スコット結線変圧器、モールド変圧器でH絶縁材料を使用するもの ─ 時電圧	構 ○高圧ケーブル	ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ○歴外に徳田するFM-高圧組織ポリエチレッケーブルは、JDS 4395 [6600W 雑練ポリエチレ	○通信用 Ε _o : およびΕ _{oa} 1 0 0 Ω以下 EB(D=10, L=1000またはW=30, L= 900) × 1 ○測定用 E _o EB(D=10, L=1000またはW=30, L=1200) × 1
性故官	(1) 埋設深度は、次のとおりとする。 ※地表面 (舗装がある場合は、舗装下面 (路盤)) から 300mm 以上	1 10	/支圧器の残酷	(1) 変圧器(スコット結構変圧器、モールド変圧器で日純線材料を使用するもの一時電圧 が低圧または特別高圧のものを除く。)は、グリーン購入法による特定調達品目の判断		○屋外に使用するEM-高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル (3層押出型)」によるものとする。	Unit (U=10, L=1000 \$72 (\$\)\$ (U=1200) × 1
	※地表園 (副装かめる場合は、副装下園 (路室)) から 3 U U m m 以上 ○引込管・高圧線路・車両通路等 地表面から 6 0 0 m m 以上			が他上または特別高圧のものを除く。) は、クリーン購入法による考定調達品目の判断 基準を満たすものとする。	2	ンゲーブル (3層押田型) 」 はるものとする。 ○屋外の高圧ケーブルの端末処理材は (○一般屋外用 ○耐塩用 ○重耐塩用)とする。	
	(2) 管径は200mm以下とする。			(2) ダイヤル温度計は、最高温度指針付とする。	線	○屋外で高圧ケーブ・相互の接続または端末処理を行う場合は、被覆の伸縮対策を施す。	表一3 「工事区分表」
	(3) 配管下端 (管底-100mm) および配管上端 (管頂+100mm) に砂地葉 (山砂類	要 0)基礎	※本工事 ○別途工事 ○既設	路	○高圧ケーブルは受変電設備までの配線経路中、1箇所以上で3m程度の余長を見込むこと。	工事内容 建築電気機材
	または再生材)を施したあと、根切り土の中の良質土で埋戻す。)サーモスタット	換気扇を設ける場合は回転センサ等の独立した検出装置を持つ故障警報装置を設け(盤面表)	○装柱材	屋外のがくしは(○一般屋外用 ○重耐塩用)とする。	tg 屋内基礎 ● ●
	(4) 埋設表示	·		示共)、盤内にサーモスタット(80°℃~40°℃可変形、35°℃に設定)およびスイッチ(自動	○屋外灯	基礎 ※本工事 ○別途工事	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本
	標識シート(中間) ※高圧 ※低圧 ※データ回線等	10		手動・断)を設ける。	/	※外灯ポールの材質が頻製 (SPC) の場合は JISH 8641 「溶融亜鉛めっき」に規定する	機 屋外基礎 ● ●
	埋設標 ※高圧 ○低圧 ○データ回線等	Mx C) 仕屋日第	また、外部換気圏連動(※端子 〇スイッチ)を設け、サーモスタットと連動させる。 本機関連ト ディース (大) (内) かんに (内) かって (大)		HDZT49を施し、指定色塗装とする。	基 架台、アンカーボルト ● ●
工事	接地埋設標は文字刻印式とする。			予備限流上ユーズは収納ケース等に入れ、盤内に収納する。 ○摩内形は 押しボタン ランプ 計業額を外票の目やまい位置に配置する		○照明用ポールに配線用遮断器(引外し装置無し)またはカットアウトスイッチ(素通しヒューズ)を設ける。	*** 特記した基礎 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	接地理談標はX子別印式とする。 分電盤等の接地線は屋外にて埋設し、接地埋設表示を行う。	1 10	/ V/IB	○程内型は、押しボタン、ランブ、計器類を外原の見やすい位置に配置する。 ○低圧配電盤の配線用遮断器は取付け板組込形で埋込形とする。(前面保守形は除く)	\times	→ ∧/ ca(U♥)	ト型網接 S・SRC造梁の貫通部 補強
	接地極の材料は、図面に特記なき場合は、表一2「接地極一覧表」による。			○低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子を設ける。(前面保守形の場合は図面特記による)	構 ○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設·改設 <u>○取外し再取</u> 付	スリーブ
および防錆処理	(1) 配管等の支持金物・鋼製架台・機器付属金物	7		○充電表示器は、断路器の1次側の適切な場所に設ける。	内 通 ○マンホール	構造、寸法は (※標準図 ○図示) による。	RC造梁・床・壁の貫通部 補強
	→ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●		-		信 およびハンドホール	蓋の用途表示は(※適信 ○)とする。	数
	② 屋外部 ※SS400 (溶融亜鉛めっき(JIS H 8641) ※HDZT49 ○HDZT70 ○HDZT77))工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設·改設 <u>○取外し再取付</u>	路		<u>□</u> 型枠
	〇ステンレス鋼製 (SUS 304)	[참 0:)工事種類	〇直流電源装置			開 経量鉄骨下地天井・壁の開口部 補強 ●
	歴外部のボルト、ナット材質は上記に準ずる。 (2) 歴めの発類・期期整体・始終方向線費社要体・ブルギックフまねけ細控制プレート	議員)その他	○交流無停電電源装置 (川P-B) ○京流無停電電源装置 (川P-B) ○京流無停電電源装置 (川P-B)			部 補強を要する切込み ● 補強を要しない切込み ● ●
	(2) 歴外の盤類・開閉器箱・地絡方向総電装置箱・ブルボックスまたは銅板製プレート ※SS400 (溶融亜鉛めっき (JIS H 8641) ※HDZT79 ○HDZT77)	備) (WIE	○直流電源装置の過放電防止保護装置(直流不足電圧総電器)の設定電圧は、90 V とする。			補強を要しない切込み ■ 貫通郎・開口部の穴埋め補修 ■ ●
	※55400 (溶極亜鉛のつき (JIS H 8641) ※HUZ149 OHUZ170 OHUZ177) (ステンレス細製 (SUS 304)	1)工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設·改設 ○取外 <u>し再取付</u>			夏通郎・開口部の八理の網修 ● ● ● ●
	(3) 屋内部分で温気、水気のある部分の鋼板製函または鋼板製プレート)工事種類	○ディーゼル発電装置 ○ガスエンジン発電装置			東、天井点検□ ●
	※SS400 (溶融亜鉛めっき (JIS H 8641) ※HDZT79 ○HDZT77)			○ガスタービン発電装置 ○太陽光発電装置			そ 防 油 堤 オイルサービスタンクの防油堤 ●
	○ステンレス顕製 (SUS 304)	, O:	大陽電池アレイの架台	架台の材質が鋼材の場合は、JHS H 8641「溶融亜鉛めっき」による			の 外部取付ガラリ ダクト、チャンバーの接続用フランジ含む ●
		in in		(※HDZT49 ○HDZT63 ○HDZT77)以上の溶融亜鉛めっきを施したものまたは同等以上の			他商水排水 配管、桝、蓋
	図面に特記がない場合、機器および盤類は製造者の標準仕様とする。	198		耐食性を有するものとする。			汚水、雑排水 配管、桝、蓋 ●
**との取り合い	表-3「工事区分表」によるほか、機器の設置位置等取り合いの検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。	横道へ)工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設· <u>改設 ○取外</u> 七再取付			電 別途機器等へ直接接続する配管配線 気 別途機器付属の制御盤以降の配管配線(接地共) ●
整	て、監督職員の承諾を受ける。 関連工事と連係し総合調整を行う。停電・復電時の動作確認を行う。	(開催)	ノエ争和出	○此日 ○紀禄 ○依容取刊 ○仮容移 <u>蔵・返蔵 ───取</u> 亦じ再取付			気 別途破器付属の制御盤以降の配管配線 (接地共) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	- 1974年 - 19	報設					管 別途機器と専用操作スイッチの渡り配管配線 ● ●
		構〇)工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設·改設 <u>○取外七</u> 再取付			線 パッケージ形空気調和機の2次側配管配線(接地共)
			形式	○交換装置 ○ボタン電話装置			
				○外部固定料 ○内部固定形 ○回転形または上下動形 ○			
)保安器用接地	電話回線引込用保安器の設置は(※本工事 ○別途工事)とする。			
				○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取外し再取付			
		情設 〇)上學範囲	○フルエサイン注号 ○出海事子特殊 ○味和主二和県			
		情設 〇:)工事程類)工事種類)子時計	電配面は70次所をX金が改置は (XXエーサーンが必工サーン・マッ) ○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移動・改設 ○取外し再取付 ○マルチサイン装置 ○地温表示数価 ○時刻表示数価 類形かき不能計け SWA、			
		情報表示備〇)子時計	特記なき子時計は、SWA22-GpB2とする。			
		情報表示備〇)子時計	○マルチサイン接着 ○映過表示設備 特記なき子時計は、SWA2a-GpB2とする。 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移投・改設 ○取外し再取付			
		情報表示備〇)子時計	特記なき子時計は、SWA22-GpB2とする。			
		情報表示備〇)子時計	特記なき子時計は、SWA22-GpB2とする。			
		情報表示備〇)子時計	特記なき子時計は、SWA22-GpB2とする。			
		情報表示備〇)子時計	特記なき子時計は、SWA22-GpB2とする。			
		情報表示備〇)子時計	特記なき子時計は、SWA22-GpB2とする。			
		情報表示備〇)子時計	特記なき子時計は、SWA22-GpB2とする。			
		情報表示備〇)子時計	特記なき子時計は、SWA22-GpB2とする。			
		情報表示備〇)子時計	特記なき子時計は、SWA22-GpB2とする。			
		情報表示備〇)子時計	特記なき子時計は、SWA22-GpB2とする。			
		情報表示備〇)子時計	特記なき子時計は、SWA22-GpB2とする。			○ 日本
, Aŭ		情報表示備〇)子時計	特記なき子時計は、SWA22-GpB2とする。		場合建高設備計画・設計・塩理 ま思 環境・システム 設 計	あわらキャンパス 屋外建屋照明LED化更新工事
	大學法人 福 井 県 立 大 学	情報表示備〇)子時計	特記なき子時計は、SWA22-GpB2とする。		物口建果欧洲引因 欧引 五柱	P 工事名的 あわらキャンパス 屋外建屋照明LED化更新工事 回席名物 国際名物 国際名物 国際名物 日本







特記仕様書

1. 概要

本工事は既設蛍光灯照明器具を LED 照明器具に更新する。

2. 仕様

(製品) 照度等の機能は同等とする

公共·参考型番

直付 LED ベースライト (25.0W) LSS9-4-37

直付 LED ベースライト反射笠付型(25.0W) XFX440KEN LE9

直付 LED ベースライト (47.8W) LEDQ-72861SES-LS9

直付 LED ベースライト (6.0W) XLW202NENZ LE9

直付 LED ウォールライト (20.0W) XLW202NENZ LE9

(工事費)

電灯設備(自走式リフト使用) 1式

撤去工事 1式

発生材処分 1式